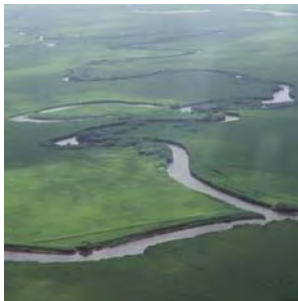
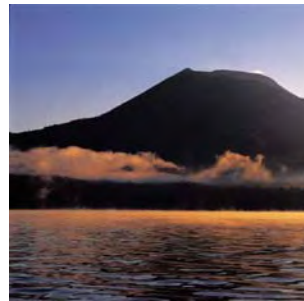


平成18年度 活動報告

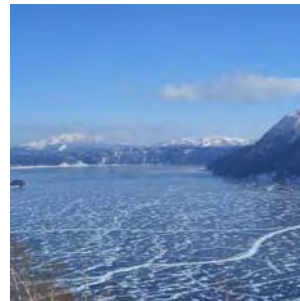
釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ Clear Stream Scenic Byway



釧路湿原エリア



阿寒湖エリア



弟子屈エリア



中標津エリア

0. 地域活動報告の概要

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
3. 地域及び行政の運営に関する報告
4. 審査委員会意見に関する報告
5. その他の報告

平成19年3月31日

ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄
ルート運営行政連絡会議 議長 篠宮章浩

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

(1) 中長期計画(活動方針)

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイでは、下記中長期計画(方針)に沿った活動を、ルート運営委員会(景観まちづくり部会、観光交流部会、情報広報部会)が中心となり実践していきます。

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

【テーマ】神秘的で優れた自然のあり様を五感で感じるダイナミックルー

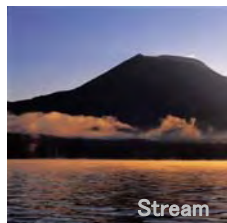
1. 地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり 知る・活かす	1) 地域を知る・活かす(自然・景観・産業)	①まちを知る・人を知る	・仕組み、組織、人材、ネットワーク 等
		②自然環境を知る・活かす	・自然、地理特性、動植物 等《例：水辺マップの作成》
		③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	・地点・対象のピックアップ、魅力と課題の把握等《例：景観診断、景観ウォッチング》
		④温泉を知る・活かす	・温泉街の特徴、泉質の効能、利用方法 等《例：温泉・コース調査、温泉観光777検討》
2. 個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり 整える・つなぐ	2) 食を知る・活かす	⑤体験活動を知る・活かす	・自然体験(自然体験メニュー)、産業体験(酪農体験) 等
		①地場産品を知る・伝える	・乳製品、河川・湖沼で取れる水産資源 等
		②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	・食の勉強会、道東メニュー開発 等《例：鹿肉、ポーク、エミュー他》
		③地域の各種文化を知る・活かす	・アイヌ文化、 等
3. 地域内資源循環の実現による、持続可能な地域(ルート)づくり 創る・育てる	3) 文化や歴史を知る・活かす	②地域の歴史を知る・活かす	・縄文文化。開拓の歴史 等《例：地域歴史写真展の開催 他》
		①沿道景観を整える	・道路清掃、景観診断、景観探索など 等
		②物語のあるみちをつくる	・花などのテーマのあるみちづくり、モデル地区(箇所)での理想の景観づくり試行
		①おもてなしの質を整える	・ホスピタリティ向上の取り組み 等
	2) 観光客を受け入れる環境を整える	②既存施設の質を整える	・観光案内看板、トイレ、P帯などの整備 等
		①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供(～サブテーマ～ドライブの提)	・景観巡りのモデルコースづくり(提案・商品化)等《例：クリアストリームコース》
		②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供(～サブテーマ～ツーリズムの提供)	・アグリツーリズム、エコツーリズム、タウンツーリズム、カルチャーツーリズム
		①HP・各種広報誌等による情報提供	・ホームページ、ドライブマップ、ルート瓦版等の作成 等
	4) 各種情報を伝える・蓄える	②観光案内施設等による情報提供	・案内所、まちの駅 等
		③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	・ルートHPでのcgi形式による情報収集蓄積 等
		①地域(こども達)への環境教育	・社会学習、子供と先生の全国環境サミット、環境・地域づくりフォーラム、勉強
		②来訪者(観光客)へのインタプリテーション	・ガイド育成、観光客との相互交流 等
	1) 自然と共に生きる意識を育てる	①自然を守るルールをつくる	・各種プラン(目標)の作成(景観・自然)、CO2削減のためのルールづくり 等
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	・グランドワーク、トラスト活動 等
		①コミュニティビジネスを育てる	・シーニックカフェ 等
		②地域経済循環の仕組みを創る	・各種仕組みの検討・試行(地域通貨、地産地消、産消協働) 等

神秘的で優れた自然のあり様を五感で感じるダイナミックルート



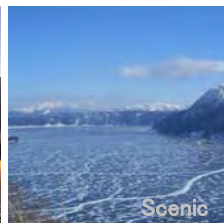
Clear

釧路湿原を蛇行して流れる釧路川
(釧路湿原エリア)



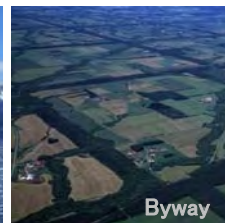
Stream

朝焼けに輝く阿寒湖
(阿寒湖エリア)



Scenic

全面結氷した神秘の湖、
摩周湖(弟子屈エリア)



Byway

人工衛星からも確認できる
格子状防風林(中標津エリア)

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ Clear Stream Scenic Byway

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

Ku-01~04

シーニックカフェ

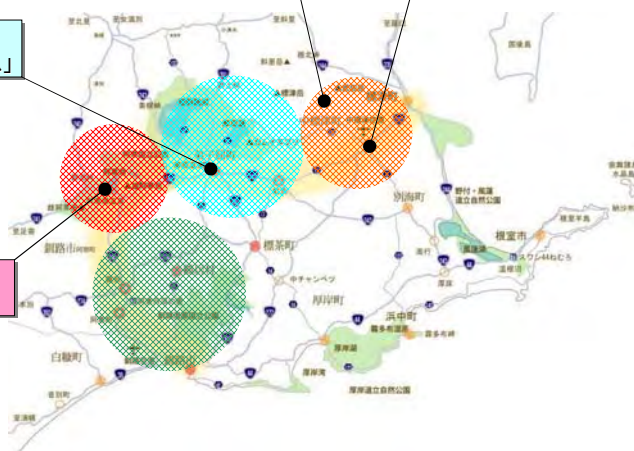
平成17年中標津町商工会青年部が実施した「シーニックカフェ開陽台牧場」の取り組みから始まり、本年度は、計4つの活動が行われた。各々の活動は主催団体の独自企画とし、景観まちづくり部会において、連携策の検討、情報発信におけるツールの提供などを行った。

シーニックカフェ
中標津「開陽台牧場」

シーニックミルクカフェ
中標津「リスの森」

シーニックカフェ
弟子屈「ホームスイートホーム」

シーニックカフェ
阿寒湖「パン・デ・パン」



シーニックカフェ(シーニックカフェ開陽台牧場)

実施日： 7月22日(土)～30日(日) 12時～16時半
場 所： 開陽台牧場内
主 催： 中標津町商工会青年部
協 力： 中標津町(使用許可・無償提供)

- 開陽台牧場の振興
 - ・地域住民に開陽台のよさを再認識してもらう。
 - ・レンタカーを利用するファミリー旅行者に広く知ってもらおう。
- 地産地消の促進
 - ・地元農業高校とのタイアップメニュー(ウインナーなど)
 - ・地元ミルクを使った個性的メニューの提供
- 観光情報の発信
 - ・近隣地域の観光パンフなどを配布
 - ・店員(商工会メンバー)とのふれあいによる情報提供
- シーニックバイウェイ制度啓蒙(パネル展示、資料配布)
 - ・シーニックバイウェイ制度説明パネル掲示、資料配布
 - ・ルート広報(マガジン配布ほか)

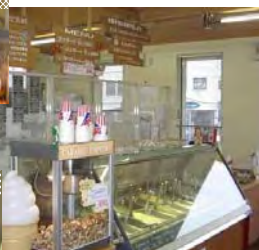


また逢えるね 大自然の中の カフェテラス
～しばし立ち止まり、のんびりした時間の中で 美味しい空気と、美味しいコーヒーをお楽しみ下さい～

シーニックミルクカフェ リスの森 なかしべつ

実施日： 通年
場 所： 中標津町
主 催： リスの森(中標津町商工会青年部員)
協 力： 中標津町商工会青年部

- 活動団体メンバー経営のアイスクリーム店にて実施
- オリジナルメニュー、観光情報提供など
- 地産地消の促進(ミルク)
- シーニックバイウェイ制度啓蒙(資料配布)
- ルート広報(マガジン他配布)
- 観光振興(広域観光情報の配布、情報拠点)



情報発信をすることにより、店舗スタッフとお客様の交流が増えている。

シーニックカフェ ホームスイートホーム

実施日： 4月29日～11月5日（平成18年）
場 所： 弟子屈町
主 催： ホームスイートホーム
協 力： 弟子屈町商工会青年部

- オリジナルカップ製作
- 地産地消の促進（エゾシカバーガー）
- 湧水水コーヒー
- 足湯併設
- シーニックバイウェイ制度啓蒙
（縮小パネル展示、資料配布）
- ルート広報（マガジン他配布）
- 観光振興（広域観光情報の配布、情報拠点）



カフェの大人気メニュー
エゾシカバーガー



湧水地に足湯を整備



シーニックカフェ パン・デ・パン

実施日： 通年
場 所： 阿寒湖温泉
主 催： パン・デ・パン
協 力： 阿寒観光協会

- 阿寒湖エリア代表の依頼により実現
- 商店街にあるベーカリー＆カフェにて実施
- 地元農産物などを使用した製品の販売
- 各種情報誌の配布
（ルートマガジン他各種資料）



阿寒・摩周・中標津リレー清掃 摩周クリーンウォーク2006

実施日：平成18年5月27日
 場所：弟子屈町内（鈴蘭～川湯）
 主催：弟子屈町
 共催：釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ
 参加：中標津町商工会青年部、阿寒観光協会、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会、川湯温泉観光協会、摩周湖観光協会、釧路開発建設部ほか多数



阿寒・摩周・中標津リレー清掃 中標津清掃奉仕活動

実施日：平成18年6月4日
 場所：弟子屈町内
 主催：中標津町
 参加：中標津町商工会青年部、摩周湖世界遺産登録実行委員会、弟子屈町商工会、釧路開発建設部ほか多数



阿寒・摩周・中標津リレー清掃

〔目的〕

活動団体がエリアの枠を超え、相互に参加（お手伝い）することにより、道路景観の美化はもとより、個々の交流と親睦を図る

〔開催〕

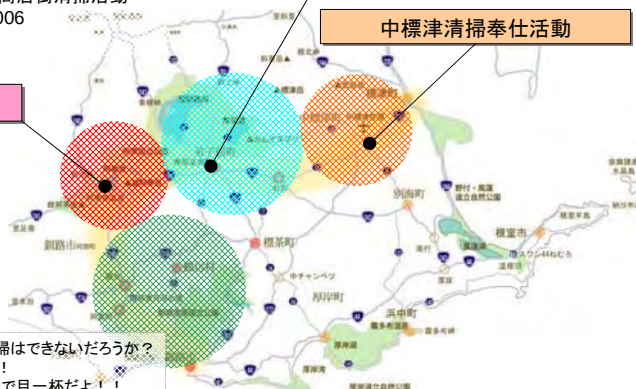
- 4月27日 阿寒湖温泉 幸福の森商店街清掃活動
- 5月27日 摩周クリーンウォーク2006
- 6月 4日 中標津清掃奉仕活動

幸福の森商店街清掃活動

摩周クリーンウォーク2006

中標津清掃奉仕活動

- ①せっかくルートができた事だし、一斉清掃はできないだろうか？
- ②清掃活動といえば、雪解け後の春だね！
- ③いやいや、その時期は恒例の清掃活動で目一杯だよ！！
- ④それじゃ、シーニック活動のPRも兼ねて参加しようか？
- ⑤よしやろう！



阿寒・摩周・中標津リレー清掃 幸福の森商店街清掃活動

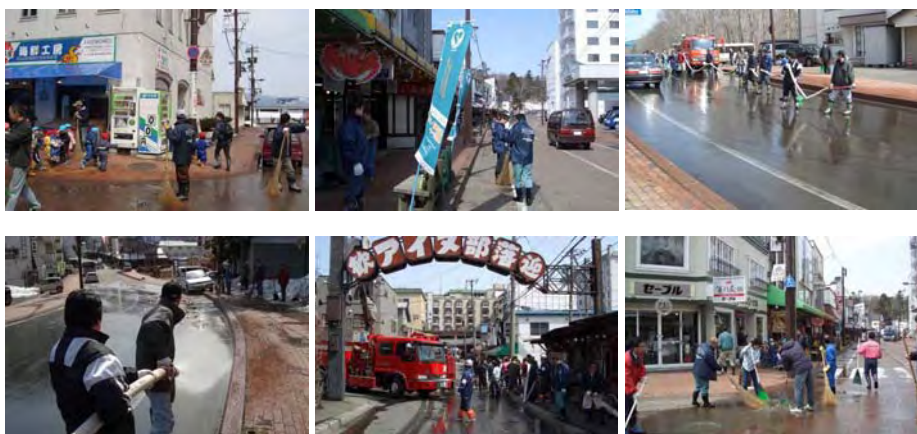
実施日：平成18年4月27日

場 所：阿寒湖温泉幸福の森商店街

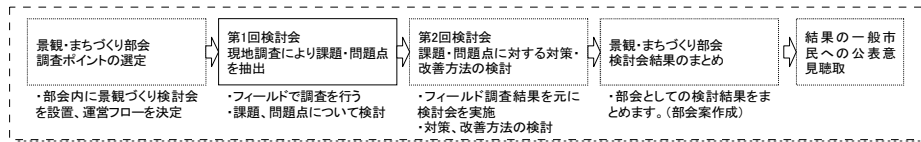
主 催：連合町内会

協 力：阿寒観光協会、釧路開発建設部（用具提供）

参 加：摩周湖世界遺産登録実行委員会 弟子屈町商工会 釧路開発建設部
阿寒観光協会、阿寒湖温泉連合町内会



景観づくり検討会



■第一回検討会の様子



レクチャー



フィールド調査

調査結果のまとめ
グループ発表
意見交換

■釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ景観マスタープランの構成



ルート基本方針



エリア別方針

第1回景観づくり検討会

実施日：平成18年10月21日
 場所：弟子屈町商工会、弟子屈エリア
 主催：景観まちづくり部会
 協力：釧路土木現業所、釧路開発建設部

- ・ 弟子屈エリアにおいて、これまでの活動で発掘した地域資源や、一層の活用が考えられる地域資源、及び地域資源周辺環境のフィールド調査。
- ・ フィールド調査結果から景観づくりの方向性について検討。
- ・ 景観資源として今後の活用が考えられるポイントの抽出
- ・ 今後の地域景観形成上の課題や問題点として考えられるポイントの抽出
- ・ フィールド調査では、ルートHPで紹介する、食事や看板娘の取材も行った。



第2回景観づくり検討会

実施日：平成19年1月31日

場所：弟子屈町商工会、弟子屈エリア

主催：景観まちづくり部会

協力：環境省、釧路開発建設部

- ・ これまでに取り組んできた調査・検討結果を整理
- ・ 「何のための景観づくり？」 ルートの景観づくりについて考える
- ・ 景観づくりに係わるこれまでの調査活動結果の共有
- ・ 弟子屈エリアと中標津エリアにおける今後の景観づくりの方向性の共有



第3回阿寒摩周キング・オブ・クリーンウォーク

実施日：平成18年9月2日

場所：阿寒摩周横断道路(R241)他

主催：クリーンウォーク実行委員会

後援：釧路開発建設部・釧路支庁・弟子屈町・釧路市

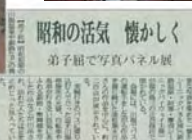
環境省東北道地区自然保護事務所ほか

協賛：釧路開発建設部弟子屈道路事務所(軍手・ゴミ回収、施設使用など)

- ・ 42.195kmコース、15kmコース、5kmコースからなるごみ拾いウォーキング
- ・ ガイドブックを作成し、7ページに渡りシーニックバイウェイ制度の紹介、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイの紹介を実施



懐かシーニックパネル展



地域の古い写真を集めたパネル巡回展
主管: 景観まちづくり部会

【実績】

平成18年10月2～16日
平成18年10月28～29日
平成18年11月12日
平成18年11月24日
平成18年12月1～20日
平成19年1月6～31日
平成19年3月1～15日

弟子屈エリア主催 弟子屈町湯の島 辻谷食堂
貸出 中標津町 伝成館
中標津町商工会青年部主催 トーヨーグランドホテル
地域づくりフォーラム 釧路プリンスホテル
中標津町役場エントランス
貸出 野付半島ネイチャーセンター
釧路地方合同庁舎エントランス

花いっぱい活動団体交流会



実施日: 平成19年3月7日
場 所: 川湯ふるさと館
主 催: 景観まちづくり部会
協 賛: シーニックバイウェイ支援センター

- ・ SBW支援センター事務局長かとうけいこ氏を迎え、講演会、意見交換会を実施
- ・ シーニックバイウェイルートとして取り組む活動の方向性(コンセプト)の抽出
- ・ 普段の会議、広域的な活動に参加できない花いっぱい系活動団体への参加意識の醸成
- ・ 恒例行事化に向けた検証
- ・ 共通コンセプト等を作成し、中長期計画への展開の足がかりを掴む。



実施日：平成18年12月6日
場 所：釧路市観光国際交流センター
主 催：観光交流部会

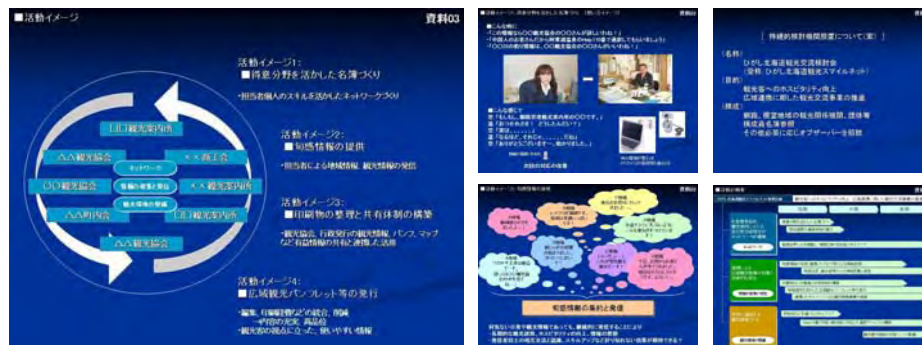
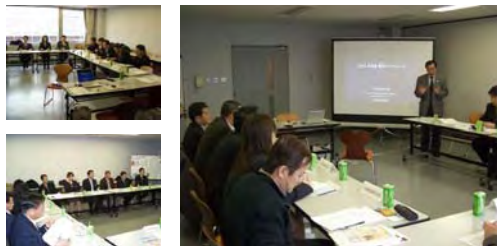
- ・ ルートへお越しになったお客様へのホスピタリティ向上
- ・ ルート運営活動計画に基づく「持続的検討機関の設置（勉強会、意見交換会）」に向けた意見聴取。
- ・ 観光窓口調査の結果発表、今後の広域連携に向けた意見交換



- 中標津町経済振興課観光振興係(中標津町観光案内所、中標津空港観光案内所)
- (社)摩周湖観光協会(付設観光案内所、道の駅摩周温泉観光案内所、JR摩周駅観光案内所)
- (社)釧路観光協会(釧路駅内釧路市観光案内所、釧路空港ビル内釧路市観光案内所、MOO内釧路市観光案内所)
- (株)釧路河阿開発公社(MOO総合案内、MOO内釧路市観光案内所)
- NPO法人同歩観光協会まちづくり推進機構(付設観光案内所)
- 釧路温泉 阿寒・摩周シーニックバイウェイ観光交流部会 他 オブザーバー: 釧路開建

実施日：平成19年2月14日
場 所：釧路市観光国際交流センター
主 催：観光交流部会

- (観光交流検討会設置の目的)
- ・ 観光客へのホスピタリティ向上
 - ・ 広域連携に即した観光交流事業の推進



ルートホームページ <http://sbw.web-p.jp/>

実施日：通年
場 所：web
主 催：情報広報部会
(ルート関係者+外部編集協力者)

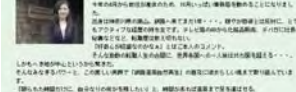
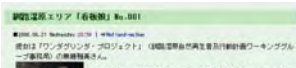
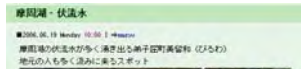
- ・ 観光情報の集約と発信
- ・ 「顔が見える」「匂が伝わる」地元発信Blog
- ・ CGIによる共同構築型サイト
- ・ ヒット数：1万超、記事数：450超



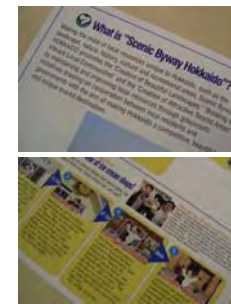
■2006春夏表紙



■2006秋冬表紙



ルートマガジン 春夏号



発 行：情報広報部会（ルートマガジン編集会議）

- ・ 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ公式マガジン「顔が見える」「匂が伝わる」地元発信フリーペーパー
- ・ 情報広報部会で編集会議を行い、幹事会、他の部会と連携しながら発行している。
- ・ 釧路空港、中標津空港のレンタカー各社、及び釧路管内、根室管内、網走管内の一部の道の駅で配布
- ・ 春夏号は、日中韓観光外相会合に対応し、英中韓3ヶ国語版を製作

ルートマガジン 秋冬号



発行：情報広報部会（ルートマガジン編集会議）

- ・ 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ公式マガジン「顔が見える」「匂が伝わる」地元発信フリーペーパー
- ・ 情報広報部会で編集会議を行い、幹事会、他の部会と連携しながら発行している。
- ・ 釧路空港、中標津空港のレンタカー各社、及び釧路管内、根室管内、網走管内の一部の道の駅で配布

地域づくりフォーラム・ルート指定報告会

実施日：平成18年11月24日
場 所：釧路プリンスホテル

■地域づくりフォーラム

主 催：釧路開発建設部

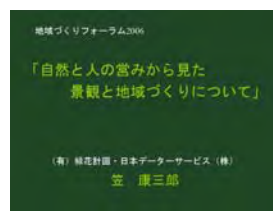
テーマ：地域の自然をまもりつつ活かすアイデア

- ・ 地域住民、企業、行政のパートナーシップによる釧路の自然をまもり活かした地域づくりやインフラのあり方などに関して、専門家や有識者からのお話を伺い、地域の方々と共に考え、情報発信する場

■ルート指定報告会

主 催：釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

地域づくりフォーラムに引き続き、指定報告会を実施
懐かシーニックパネル展を同時開催



観光案内窓口現況調査

実施日：平成18年5月～6月

場 所：各地観光案内所窓口

実施者：観光交流部会

- ・ 観光における広域連携に向けた観光案内施設現況の把握
- ・ 調査項目：施設概要に関する事項、運営体制に関する事項、業務内容に関する事項、設備、配布物などに関する事項、窓口担当者のメッセージ他



開陽台展望館(ショップ)



阿寒観光協会



中標津町観光案内所 (なかまつ)



中標津空港観光案内所



釧路空港ビル内釧路市観光案内所



釧路駅内釧路市観光案内所



フィッシャーマンズワーフMOO内釧路市観光案内所



花いっぱい活動調査

■中標津「華どおり会」

平成18年6月

景観まちづくり部会

中標津町商工会青年部

景観まちづくり部会による花いっぱい活動調査が行われた。調査の目的はルートホームページ上での花いっぱい活動の紹介であったが、中標津町商工会青年部では、作業に参加することにより、更なる親睦と交流を深めた。



花いっぱい活動調査

■弟子屈町花いっぱいフラワーロード

平成18年6月
景観まちづくり部会
弟子屈商工会

町の入り口を飾る国道内の花壇弟子屈町花いっぱいフラワーロードの花植え活動。
弟子屈町商工会青年部、女性部、摩周湖観光協会、釧路開発建設部弟子屈道路事務所ほか参加



湧水・名水の紹介(HPでの取組み)

■湧水・名水の紹介 景観まちづくり部会、情報広報部会 通年の取り組み(長期)

私たちの住む地域には豊かな水環境があります。いたる所で清らかな流れに出会い、摩周湖の伏流水をはじめとする湧水群が点在しています。
ゆっくり時間をかけて、そんなミズ達を紹介していきます。



シーニックバイウェイ制度紹介・啓蒙活動

■シーニックバイウェイ制度の紹介、啓蒙活動

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイでは、地域の皆様へシーニックバイウェイ活動を知っていただくことを目的に、シーニックバイウェイ北海道制度紹介パネルの展示、資料配布、イベントにおける説明などを実施した。

■根室管内青年団体交流会

■平成18年5月27日

■中標津町商工会青年部



シーニックバイウェイ制度紹介・啓蒙活動

■シーニックバイウェイ制度の紹介、啓蒙活動

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイでは、地域の皆様へシーニックバイウェイ活動を知っていただくことを目的に、シーニックバイウェイ北海道制度紹介パネルの展示、資料配布、イベントにおける説明などを実施した。

■じゅう箱のスマまつり(活動団体イベント)

■平成19年3月3日

■ボランティアネットワークチャレンジ隊

協力：弟子屈エリアシーニックカフェホームスイートホーム



木製看板の製作と掲示

■木製看板製作と掲示

ルート運営委員有志により、木製看板の製作を行い、シーニックカフェ、ほかシーニックパネル展などにおいて掲示した。

■ルート運営委員長辻谷智之氏制作



ルート審査委員長視察

■ルート審査委員長視察 平成18年7月29日

シーニックバイウェイ北海道推進協議会への申請を前に、ルート審査委員長小林英嗣教授に視察を行っていただいた。ルートの地域資源の視察、活動内容の紹介、ルート運営計画へのアドバイス等をいただき、有意義なものとなった。



第3回推進協議会でのプレゼンテーション

■第3回シーニックバイウェイ北海道推進協議会
平成18年11月13日

ルート指定審査の行われた第3回シーニックバイウェイ北海道推進協議会へ参加し、プレゼンテーションを行った。

桐木茂雄会長、藏根敏文阿寒湖エリア代表、酒田浩之釧路湿原エリア代表、松寛大樹中標津エリア代表代行、辻谷智之ルート運営委員長、飯居仁司ルート運営委員

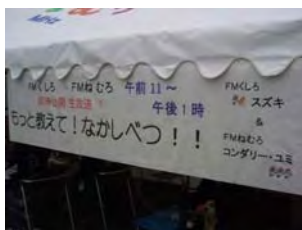


ラジオ出演

■FMラジオ出演

「シーニック宝島」のFMくしろ、FMねむろ製作担当分、および中標津にて行われたじゃがいも伯爵まつりの際に放送された「もっと教えてなかしべつ」などに活動団体関係者が出演し、シーニックバイウェイ制度の啓蒙、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ活動の紹介などをおこなった。

- シーニック宝島1: 桐木茂雄会長
- シーニック宝島2: 藏根敏文阿寒湖エリア代表
- シーニック宝島3: 弟子屈エリア、中標津エリアのみなさん
- もっと教えて中標津: 中標津エリアのみなさん



行政担当者連絡会議への参加

実施日：平成18年7月7日
場 所：釧路地方合同庁舎
参加者：ルート役員、運営委員

- 行政担当者連絡会議に参加
- ルート活動状況の報告
- 意見交換など



1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

(2) 中長期計画(活動方針)に沿った成果報告

①大項目: 知る・活かす

大項目	中項目	小項目	整理番号	中短期達成項目	活動名称	H18年度活動成果	今後期待される成果
1. 知る・活かす (地域の資源を知る・活かすことによる、多様な道東ブランドづくり)	1) 地域を知る・活かす (自然・景観・産業)	①まちを知る・人を知る	1.1.1	○	景観づくり検討会	フィールド調査を通じ、まちや人の暮らしを再認識す	
					シーニックカフェ	地域のお客さんと積極的に交流する。	
					阿寒・摩周・中標津リレー清掃		活動を通じ地域住民と親睦を深める。
					キング・オブ・クリーンウォーク	ウォーキングを通じ、参加者同士のコミュニケーションを図る(まちや人を知る)	
					懐かシーニックパネル展	昔の地域の様子、人々の暮らしを知ることにより、現在の生活に活かす。	
					花いっぱい活動団体交流会		ルート内の活動団体が交流することにより、お互いの住む地域を知る。
		②自然環境を知る・活かす	1.1.2	○	観光交流検討会	今月の看板娘など関連する記事を掲載する。	
					ルートマガジン発行	特集インタビューコーナーなどを通じ地域で活躍する人を紹介する。	
					キング・オブ・クリーンウォーク	参加者は国立公園内を歩く事により、自然環境を知る。環境美化を行う。	
					懐かシーニックパネル展		昔の自然環境を知ることにより現在の自然保全、保護活動などのヒントを得る。
					花いっぱい活動団体交流会		花いっぱい活動による環境美化を通じ地域の魅力を活かす。 花を育てることにより、気候風土や在来種と外来種の問題に気づき自然環境を知る。
					ルートホームページ運営	地域の自然を紹介する記事を掲載する。	
		③景勝地や景観ポイントを見つける・活かす	1.1.3	○	景観づくり検討会		景勝地や景観ポイントを見つけ、活かすための方策を検討する。
					キング・オブ・クリーンウォーク	歩く事により、普段見過ごしている景観ポイントを発見できる。	
					ルートホームページ運営 ルートマガジン発行		おすすめ景観ポイントを充実させる。
		④温泉を知る・活かす	1.1.4	○	キング・オブ・クリーンウォーク	穴場絶景ポイント紹介コーナーなどで記事を掲載す 参加者には無料入浴権が配布され、温泉を知る機会をえられる。	
					観光交流検討会 ルートホームページ運営		観光地に点在する温泉を紹介し、観光振興に役立て 観光交流部会などと連携し記事を掲載する。
					阿寒・摩周・中標津リレー清掃		清掃体験を通じ地域の再認識を行う。
		⑤体験活動を知る・活かす	1.1.5	○	キング・オブ・クリーンウォーク	歩く事により、自然・景観を体験する。	
					観光交流検討会		自然体験、産業体験情報などを収集し、観光振興に役立てる。
					ルートホームページ運営 ルートマガジン発行		観光交流部会などと連携し記事を掲載する。 体験観光や農業体験に関する記事を掲載する。
	2) 食を知る・活かす	①地場産品を知る・伝える	1.2.1	○	シーニックカフェ	施設や、メニューの紹介をする。 地場産品をメニューに採用し提供する(シカ肉、ミルク、地元農業高校製造品など)	
					キング・オブ・クリーンウォーク	ゴール地点でのイベントなどを通じ、地場産品の紹介を行う。	
					観光交流検討会		地元料理や素材の情報を収集し、観光振興に役立て
					ルートホームページ運営 ルートマガジン発行		地場産品に関連する記事を掲載する。 食や食材の記事を掲載する。
		②新たな地域食材を知る・活かす(道東の新たな食文化づくり)	1.2.2	○	シーニックカフェ		複数のエリア、カフェが連携することで新たな地域食材を知り、オリジナルメニューなどをつくる。
					ルートマガジン発行	オリジナル銅企画にて地域の飲食店と共同でメニュー開発を行った。	
	3) 文化や歴史を知る・活かす	①地域の各種文化を知る・活かす	1.3.1	○	観光交流検討会		地域の各種文化の情報を収集し、観光振興に役立て
					ルートホームページ運営		観光交流部会などと連携し記事を掲載する。
		②地域の歴史を知る・活かす	1.3.2	×	キング・オブ・クリーンウォーク	パンフレットなどの配布印刷物を通じ、地域の歴史、文化を紹介する。	
					懐かシーニックパネル展	昔の人々の暮らしや生活を目にすることにより、地域の歴史を知る。	
					ルートホームページ運営	懐かシーニックパネル展を紹介する記事を掲載する。	

②整える・つなぐ

大項目	中項目	小項目	整理 番号	中短期 達成項目	活動名称	H18年度活動成果	今後期待される成果
2. 整える・つなぐ (個性・強みとなる地域資源や、魅力ある4エリアをつなぎ・整えることによる、競争力のある地域(ルート)づくり)	1) 地域と資源をつなぐ“道(沿道景観)”を整える	①沿道景観を整える	2.1.1	○	景観づくり検討会		景観マスタープランを作成し、整備などを行う。(はたらきかける)
					阿寒・摩周・中標津リレー清掃	清掃活動により沿道景観を整える。	
					キング・オブ・クリーンウォーク	清掃活動を通じ沿道景観を整える。	
		②物語のあるみちをつくる	2.1.2	○	花いっぱい活動団体交流会	花により沿道景観を整える。	
					景観づくり検討会		大切にする景観、景観整備の方針を策定し、物語のある道をつくる。
					シーニックカフェ		シーニックカフェが連携することによる、食めぐりの物語を作る。
	2) 観光客を受け入れる環境を整える	①おもてなしの質を整える	2.2.1	○	景観づくり検討会		道路景観を改善する。
					シーニックカフェ	観光情報を発信し、face to face によるコミュニケーションを通じたおもてなしをする。	
					阿寒・摩周・中標津リレー清掃	清掃活動を通じおもてなしの質(地域を大切にすることの気持ち)を醸成する。	
					キング・オブ・クリーンウォーク	清掃活動を通じおもてなしの質(自然を大切にすることの気持ち)を醸成する。	
					懐かシーニックパネル展	懐かシーニックパネル展を開催することにより、地域への愛着、先人への尊敬などを感じることに地域愛を醸成しおもてなしの心を育てる。	
					花いっぱい活動団体交流会		まちの入口や、住宅街で活動を行うことで観光客に対するおもてなしの質を高める。
					観光交流検討会	観光交流検討会設立	観光案内所の担当者が相互連携することにより、よりよい観光案内を実践する。
					ルートホームページ運営		地域情報を掲載し、情報分野でのおもてなしの質を整える。
					ルートマガジン発行		多くの人を観光情報と共に掲載することにより、地域のおもてなし力を高める。
		②既存施設の質を整える	2.2.2	○	懐かシーニックパネル展	様々な会場を巡回することにより、既存施設の活用を行う。	
					観光交流検討会		地域と連携したドライブモデルコースなどを提案する。
					観光交流検討会		観光交流部会と連携した取り組みを行う。
	3) 地域の魅力(資源)をつなぎ感動を提供する	①地域の魅力(景観)をつないだ感動ドライブコースの提供	2.3.1	○	観光交流検討会		
					ルートホームページ運営	マガジンに掲載したドライブコースを紹介	
					ルートマガジン発行	観光情報マップを掲載し、随時ドライブコースを紹介する。	
		②地域の魅力(体験)をつないだ道東ツーリズムの提供	2.3.2	○	観光交流検討会		農業体験、産業体験、アウトドアなどの情報を集約し、新しいツーリズムを創造する。
					観光交流検討会		
					観光交流検討会		
	4) 各種情報を伝える・蓄える	①HP・各種広報誌等による情報提供	2.4.1	○	花いっぱい活動団体交流会	ホームページに活動紹介の 카테고리 を設け、お互いの活動を知る情報を掲載する。	観光交流部会と連携した情報を掲載する。
					観光交流検討会	観光交流検討会(スマイルネット設立)	スマイルネットを活用し地域の生活観光情報を核とした旬感情報を提供する。
					観光交流検討会		
					観光交流検討会		
					観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		②観光案内施設等による情報提供	2.4.2	○	観光交流検討会		観光案内所等の配布資料を整えたり、インターネット環境を整備し、案内機能の質を高める。
					観光交流検討会		収集した画像情報、資料などを蓄積する。
					観光交流検討会		収集した観光情報、旬感情報等をスマイルネット上で蓄積し、観光客に対し公開する。
		③各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.3	○	懐かシーニックパネル展		
					観光交流検討会	観光交流検討会(スマイルネット設立)	
					観光交流検討会		
		④各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.4	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑤各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.5	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑥各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.6	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑦各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.7	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑧各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.8	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑨各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.9	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑩各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.10	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑪各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.11	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑫各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.12	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑬各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.13	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑭各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.14	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑮各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.15	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑯各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.16	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑰各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.17	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑱各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.18	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑲各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.19	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		⑳各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.20	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉑各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.21	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉒各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.22	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉓各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.23	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉔各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.24	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉕各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.25	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉖各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.26	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉗各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.27	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉘各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.28	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉙各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.29	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉚各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.30	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉛各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.31	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉜各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.32	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉝各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.33	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉞各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.34	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㉟各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.35	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊱各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.36	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊲各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.37	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊳各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.38	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊴各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.39	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊵各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.40	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊶各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.41	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊷各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.42	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊸各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.43	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊹各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.44	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊺各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.45	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊻各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.46	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊼各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.47	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊽各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.48	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊾各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.49	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		
		㊿各種情報の蓄積(アーカイブづくり)	2.4.50	○	観光交流検討会		
					観光交流検討会		

③創る・育てる

大項目	中項目	小項目	整理 番号	中短期 達成項目	活動名称	H18年度活動成果	今後期待される成果
3. 創る・育てる (地域内資源循環の実現による、持続可能な地域（ルート）づくり)	1) 自然と共に生きる意識を育てる	①地域（子ども達）への環境教育	3. 1. 1	○	景観づくり検討会		景観マスタープランを地域住民や子供達に紹介し、意見やアイデアを求める。
					阿寒・摩周・中標津リレー清掃		地域の子ども会や学校単位での参加を促し活動を通じた環境教育を行う。
					キング・オブ・クリーンウォーク		地域の子ども会や学校単位での参加を促し活動を通じた環境教育を行う。
					懐かシーニックパネル展		企画展などを開催し、地域、子供達へメッセージを送
					花いっぱい活動団体交流会		里親制度の導入や、活動への一般住民、地域の子供の参加を促す。
		②来訪者（観光客）へのインタープリテーション	3. 1. 2	×	ルートマガジン発行	学習ネタの掲載（知識情報）	
					シーニックカフェ		地域の自然を紹介したり、課題を説明する。（ツール作りが必要）
					観光交流検討会		自然案内人、ボランティアガイド情報の集約と情報提供
					ルートホームページ運営		自然情報の提供
	2) 自然を保全・活用する仕組みを創る	①自然を守るルールをつくる	3. 2. 1	×	景観づくり検討会		景観マスタープランにおいて、自然を守るルールをつくる。
					観光交流検討会		観光客の捨てるゴミ問題などの検討
		②自然を保護・育成する仕組みをつくる	3. 2. 2	×	阿寒・摩周・中標津リレー清掃		行政と連携した環境ゴミ袋の導入など
					キング・オブ・クリーンウォーク		行政と連携した環境ゴミ袋の導入など
	3) 循環型社会のビジネスモデルを育てる	①コミュニティビジネスを育てる	3. 3. 1	×	懐かシーニックパネル展		所蔵品を利用したグッズなどを開発し、一部を寄付するなどの仕組みを作る。
					シーニックカフェ		カフェミーティングを通じた新商品の開発販売、新規ビジネスの検討
					キング・オブ・クリーンウォーク		クリーンウォークへの参加を核とした観光商品の創出
		②地域経済循環の仕組みを創る	3. 3. 2	×	懐かシーニックパネル展		所蔵品を利用したグッズの販売
					シーニックカフェ		地産地消を推進し、域内経済循環を構築する
					観光交流検討会		料理やお土産製品などの研究
					ルートホームページ運営		地場産品、地場産業などの情報の紹介

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

(3) 個別活動報告

分野			番号	活動名称	活動目的／内容	活動実施日	主催	個別活動評価	活動推進上の課題、展開方向
景観形成	地域づくり	観光振興							
○	○	○		シーニックカフェ	平成17年度試行期間において、中標津町商工会青年部が実施した「シーニックカフェ開陽台牧場」の取り組みから始まった。本年度は、計4つの活動が行われた。各々の活動は主催団体の独自企画とし、景観まちづくり部会において、連携策の検討、情報発信におけるツールの提供などを行った。			・シーニック活動拠点としてガイドラインなど、統一した取組みがない。 ・HPシーニックカフェ日記への投稿数に隔たりがあった。	・最低限の提供情報の統一 ・スタッフによる観光情報案内方法の検討 ・各エリア、開催ごとにHPを利用した情報提供を行ったが、記事数などに隔たり有り今後の検討が必要。 ・カフェ担当者による相互コミュニケーションの促進するため交流会を開催し現在課題となっている事項の解決、新展開にむけた糸口をつかむ。
			kus-01	・シーニックカフェ 開陽台牧場	・平成17年に引き続き第2回目 ・開陽台牧場内の町所有施設を借り実施 ・地元農産物による飲食メニューの提供（中標津農業高校と共同開発したオリジナルメニュー等） ・シーニック制度パネル展示 ・各種情報誌の配布（ルートマガジン、制度パンフ他） ・キャッチコピー「また逢えるね、大自然の中のカフェテラス」	平成18年7月22日 ～30日	中標津町商工会青年部	・夏休み前の取り組みとしては評価できる来客があった。 ・昨年に比べ大型バスなどの入込が少なかったが、レンタカーによる個人客層が支えた。 ・小林審査委員長の視察の際にご覧いただけたので良かった。 ・ルートHP記事数12	・シーニックカフェ開陽台牧場においては、中標津空港発着便の空席率、レンタカーの稼働率などを考慮の上、開催時期を検討 ・カフェを基点とした旅行の提案
			kus-02	・シーニックミルクカフェ リスの森	・活動団体メンバー経営のアイスクリーム店にて実施 ・オリジナルメニュー、観光情報提供など ・地産地消の促進（ミルク） ・シーニックバイウェイ制度啓蒙（資料配布） ・ルート広報（マガジン他配布） ・観光振興（広域観光情報の配布、情報拠	通年		・マガジンを見て、次の訪問地を決める観光客がいた。 ・情報発信することにより、観光客と店員の会話が増えた（お客さんが気軽に観光情報、地域情報などを店員に聞くようになった） ・ルートHP記事数3	・味と技術力を活かした他のカフェや、地域産業などと連携した商品開発の検討 ・ルートHPを活かしたコミュニケーションの促進
			kus-03	・シーニックカフェ ホームスイートホーム	・活動団体メンバー経営の店舗にて実施 ・鹿肉バーガー、湧水を利用したコーヒーなどを提供 ・オリジナルカップ製作 ・地産地消の促進（エゾシカバーガー） ・湧水水コーヒー ・足湯併設 ・シーニックバイウェイ制度啓蒙（パネル縮小版展示、資料配布） ・ルート広報（マガジン他配布）、観光振興（観光情報拠点）	平成18年4月29日 ～11月5日		・ルートマガジンは600部程度配布できた。 ・湧水水コーヒーは利用者が1組2名と芳しくなかった。マニュアルなどは良くできているので今後につなげたい。 ・ルートHP記事数24	・湧水水コーヒーの強化 ・道の駅と連携した取り組み（周辺歩き→市街地活性化）
			kus-04	・シーニックカフェ パン・デ・パン	・阿寒湖エリア代表の依頼により実現 ・商店街にあるベーカリー＆カフェの店舗にて実施 ・地元農産物などを使用した製品の販売 ・各種情報誌の配布（ルートマガジン他各種資料）	通年		・シーニックカフェの中で唯一、経営者が運営委員に入っており、連携においては今後の課題を残す。 ・責任者とルートとの情報共有体制ならびに積極的なコミュニケーションが必要 ・ルートHP記事数1（実質機能していない）	・運営委員会、他のカフェとの連携の強化（コミュニケーションの促進）→地産地消の店独自の取り組みなどの紹介や拡大 ・オリジナル商品の開発などシーニックカフェとしてのセールスポイントをつくる。

分野			番号	活動名称	活動目的／内容	活動実施日	主催	個別活動評価	活動推進上の課題、展開方向
景観形成	地域づくり	観光振興							
○	○			阿寒・摩周・中標津リレー清掃				・活動により、行政機関との連携に格差あり ・地元住民との交流、親睦が不足（グループ参加の形式のため） ・統一ジャンパーの着用と、交通安全用に製作したのぼりが好評	・行政連絡会議へのルートとしての協力要請、情報提供 ・統一ジャンパーの着用などビジュアル面や資料配布などのPR活動を続ける。 ・ルートホームページや、マガジンなどで事前事後の付帯活動の展開 ・地元活動団体のお手伝い参加から、シーニックルートとしての参加に展開
			kus-05	・阿寒湖（阿寒湖温泉 幸福の森商店街の清掃活動）	活動団体がエリアの枠を超え、相互に参加（お手伝い）することにより、道路景観の美化はもとより、個々の交流と親睦を図る	平成18年4月27日	阿寒湖温泉連合町内会（リレー清掃：ルート景観まちづくり部会参加企画）		
			kus-06	・摩周（摩周クリーンウォーク2006）	活動団体がエリアの枠を超え、相互に参加（お手伝い）することにより、道路景観の美化はもとより、個々の交流と親睦を図る	平成18年5月27日	弟子屈町、ルート共催（リレー清掃：ルート景観まちづくり部会参加企画）		
			kus-07	・中標津（中標津清掃奉仕活動）	活動団体がエリアの枠を超え、相互に参加（お手伝い）することにより、道路景観の美化はもとより、個々の交流と親睦を図る	平成18年6月4日	中標津町（リレー清掃：ルート景観まちづくり部会参加企画）		
○			kus-08	景観づくり検討会	第1回景観づくり検討会 ・弟子屈エリアにおいて、これまでの活動で発掘した地域資源や、一層の活用が考えられる地域資源、及び地域資源周辺環境のフィールド調査。 ・フィールド調査結果から景観づくりの方向性について検討。	平成18年10月21日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ（景観まちづくり部会）	・景観資源として今後の活用が考えられるポイントの抽出 ・今後の地域景観形成上の課題や問題点として考えられるポイントの抽出	・ビューポイントづくりの方向性について意識共有 ・景観課題ポイントに対する取り組みの方向性についての意識共有
			kus-09		第2回景観づくり検討会 ・これまでに取り組んできた調査・検討結果を整理 ・「何のための景観づくり？」 ルートの景観づくりについて考える	平成19年1月31日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ（景観まちづくり部会）	・景観づくりに係わるこれまでの調査活動結果の共有 ・弟子屈エリアと中標津エリアにおける今後の景観づくりの方向性の共有	・未調査区間の早期実施 ・方向性について意識共有された箇所に対する具体的な活動の試行
○	○	○	kus-10	第3回 阿寒摩周キング・オブ・クリーンウォーク	テーマ 「すてたら阿寒 ひろい摩周」 趣 旨 言葉では言い表せない達成感と感動を皆様にも感じてもらいたい。阿寒国立公園の大自然、自然とのつながりの中で生きる我々が大切にしなければいけないものは何なのか、そんな何かを考えるきっかけにしたい。歩く。ごみを拾う。簡単なことだけど、この大会を通して、私たちは伝えたいものがあります。皆様との出会いを楽しみにしています。	平成18年9月2日	クリーンウォーク実行委員会	・予算不足のため、広報活動を充分に行うことが出来ず、一般市民に対し広く周知、参加の呼びかけをしたとはいえない。 ・HPによる告知がルートHP、および世界遺産登録実行委員会HPのみであった。 ・5キロのファミリーコースが新設され、本年度の参加者は少数であったが、今後小さい子供のいる家族、歩こう会の高齢者などに参加の機会が広がった事が評価できる。	・恒例化した現状での活動は可能 ・今後更なる展開を目指すのであれば組織運営体制の見直しが必要である ・釧路、根室、十勝、網走など地元に住む一般参加者の増加を強化していく必要がある ・メディアを使った事前告知の強化、HPを利用した登録作業の簡素化 ・指定ルートになった利点、全道シーニックバイウェイのネットワークを使った告知などを積極的に活用 ・就学前の児童、小学生、また歩こう会に所属する高齢者など多くの参加者が楽しめるメニュー作り
	○		kus-11	懐かシーニックパネル展	昭和初期の川湯温泉、弟子屈地域を中心とした松葉末吉氏の作品および中標津、阿寒湖、釧路湿原各エリアの同時代の写真を展示 第1回 弟子屈エリア開催 第2回 中標津（伝成館イベントに貸与） 第3回 中標津（商工会青年部記念式典） 第4回 釧路湿原（地域づくりフォーラム） 第5回 中標津（中標津町役場ロビー） 第6回 野付半島ネイチャーセンター 第7回 釧路地方合同庁舎 ・ルート名の入った手作り看板の設置、ルートマガジン、シーンなどの配布	ルート内各地で巡回	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	・来場者の評判は大変良く「ありがとう」という感謝の声や、「50年間の出来事が蘇り、その場から動けなかった」など多くの人に感動を与えることができた。 ・一方、複製を分けて欲しいという声や、新たな写真の提供などが徐々に見られ、今後役割の明確化などが必要である。 ・また、100円の額が崩壊をはじめ、対策が必要である。 ・展示構成では、狭いスペースに、多くのパネルを飾りすぎ乱雑感が出た場所があった。 ・広報では、回を重ねるごとにマスコミの注目度が低下している。今後、各展示において新しさを出していく必要がある。 ・撮影時期や場所をしりたいとの声があり、鑑賞および資料として両方向のデータが必要。	・開催地、開催規模に合った展示、テーマ設定など ・会としての質の向上 ・懐かシーニックパネル展を広報するためのツール開発 ・所蔵品の管理と貸し出しに対応したシステム構築 ・所蔵品を増やすための取り組み。

分野			番号	活動名称	活動目的／内容	活動実施日	主催	個別活動評価	活動推進上の課題、展開方向
景観形成	地域づくり	観光振興							
○	○		kus-12	花いっぱい活動団体交流会	シーニックバイウェイ支援センター事務局長かとうけいこ氏を迎え、講演会、意見交換会を実施 ・シーニックバイウェイルートとして取り組む活動の方向性(コンセプト)の抽出 ・普段の会議、広域的な活動に参加できない花いっぱい系活動団体への参加意識の醸成 ・恒例行事化に向けた検証 ・共通コンセプト等を作成し、中長期計画への展開の足がかりを掴む。	平成19年3月7日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ(景観まちづくり部会)	・ルートHPの花いっぱい活動の紹介を充実させる。そのために、活動団体が能動的(意識の元)に情報発信(運営委員への提供)をしていくことを確認。 ・成果をまとめ、相互交流促進ツールとして花いっぱい活動マップを作成することを確認。	・意見交換会での内容を元に、花いっぱい活動同士の連携を強化していく。 その過程において、在来種と外来種の問題や、連携、スキルアップの方策を検討する。
		○	kus-13	観光交流検討会(意見交換会)	釧路地域、根室地域の観光関係機関の皆様と共に、観光客の立場に立った観光交流事業を推進するための広域連携に即した協議、意見交換	平成18年12月6日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ(観光交流部会)	・観光の最前線にいる人(窓口担当)が集まり、年に数度でも集まり意見交換をする場を作りたい。 ・勉強会等を開催したい。 ・シーニック団体との交流も必要と考える。 ・行政との連携も重要 ・本日の意見交換の内容をまとめ、ルート幹事に観光交流部会として持続的な検討機関の設置を提案する。	・広域連携による継続的な検討が必要 ・行政連絡会議との連携
		○	kus-14	観光交流検討会	(観光交流検討会設置の目的) 観光客へのホスピタリティ向上 広域連携に即した観光交流事業の推進 ・意見交換会結果の報告 ・検討会設置についての協議 ・活動計画、活動スケジュールについて	平成19年2月14日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ(観光交流部会)	・幹部クラスの出席を予定していたが事務局員などの出席が多かったため、結果を持ち帰り後日参加の意思返答をすることになった。 ・観光交流検討会の愛称をスマイルネットと決定し、釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ観光交流部会が事務局となり今後運営を行うことを確認した。 ・事務局員や現場窓口担当者を直接繋ぐネットワークがこれまでなかった点で、新たな可能性として期待できる。	・設立された観光交流検討会に多くの参加を得られるよう調整 ・活動へ向けた詳細スケジュール作成 ・行政連絡会議への報告および活動費などの調整 ・運営として、参加構成員に満足度と希望を持って取組めるメニューと成果の創出。
	○	○	kus-15	ルートホームページ運営	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ公式サイト 観光情報の集約と発信 「顔が見える」「旬が伝わる」地元発信Blog 編集は、情報広報部会により行われている。現在、部会員自らが投稿者となり、記事の取材、アップロード作業を自ら行っている。徐々に外部の協力者としてのライターも増え、今後は、管理者およびコーディネーターとしての役割が期待されている。	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ(情報広報部会)	・ヒット数が1万件を超えた。 ・記事数450超 ・外部協力者の拡大に力を入れてきたが、厳しい状況である。 ・また、ライター同士の交流の場がない。 ・5つの独立cgiシステムのメリットを活かしていない。 ・行政連絡会議を通じ、構成行政機関へのホームページリンクのお願いをした結果、行政機関経由のアクセスが上位を占めている。今後、観光関連団体のHPなど、観光客が目にするサイトからリンクを貼ってもらうことで、効果的なPRが出来るであろう。	・現在のライター、情報広報部会員との親睦と、意見交換の場を設ける。(ライターズミーティングの開催) 各ルート10名程度の外部協力者を得て、旬の情報が日々更新される状況を目指す。 ・独立cgiのメリット、デメリットを整理して目指す方向性を明らかにする。(現在進行しているトップページのリニューアルの動向を見極めた継続的な検討と改善) ・サイト内にリンクに関する事項、著作権関係事項など基本方針を明記する。 ・観光関連団体のHPなど、観光客が目にするサイトからリンクを貼ってもらうことで、効果的なPRをしたい。
	○	○	kus-16	ルートマガジン発行	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ公式マガジン「顔が見える」「旬が伝わる」地元発信フリーペーパー 情報広報部会で編集会議を行い、幹事会、他の部会と連携しながら発行している。 ・配布先は、主に釧路空港、中標津空港に拠点を置くレンタカー各社、及び釧路管内、根室管内、網走管内の一部の道の駅である。また、ルート活動における配布が増加。 ・春夏号は、日中韓観光外相会合に対応し、英中韓3ヶ国語版を製作	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ(情報広報部会)	・配布先拡大の要望あり ・効果の検証方法を検討していないため、客観的な評価が出来ない(得られない)。 ・一部の編集部員に負担がかかり、遅延などにつながっている。 ・また、秋冬号にて各エリアで創作鍋を作り紹介する企画をしたが、編集部員が忙しく対応できず2エリアのみとなった。	・配布計画の再検討 ・配布箇所拡大の要求に対応するための必要経費の捻出方法の検討 ・効果検証方法の検討(読者アンケートなど?) ・編集会議の充実と、バランスの取れた作業分担
	○		kus-17	地域づくりフォーラム	開催テーマ:地域の自然をまもりつつ活かすアイデア 地域住民、企業、行政のパートナーシップによる釧路の自然をまもり活かした地域づくりやインフラのあり方などに関して、専門家や有識者からのお話を伺い、地域の方々と共に考え、情報発信する場	平成18年11月24日	釧路開発建設部	・地域づくりフォーラムでは、ルート会長がパネリストとして参加し、景観づくり検討会での検討事項、ルートマガジンなどの紹介を初め、ルート活動をPRした。 ・引き続き行われた指定報告会では、一般市民に対し始めて直接、ルートと指定に至る経緯や、今後の決意などを報告できた。	・これまで、候補ルート時代を通し、内部の組織固め、指定ルート申請に向けた実績作りが主な活動であった。一方、フォーラムやシンポジウムの開催といった、一般住民に対する公益性のある活動が不足していたので、今後、活動の紹介、PRの要素も含め検討していく。
	○		kus-18	ルート指定報告会	地域づくりフォーラムの後にルート指定報告会を開催	平成18年11月24日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイ		

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

(4) 分野別活動報告

1) 景観形成

番号	活動名称	総括	備考
kus-05-07	阿寒・摩周・中標津リレー清掃	沿道清掃活動では、本年度より、阿寒・摩周・弟子屈クリーンウォークを実施した。お互いの地域の活動に参加しあうことにより、新たな絆が生まれたと考える。 花いっぱい団体活動交流会では、普段は会議などに参加できない地域の団体の皆さん、主婦の皆さんの参加もあり、大切にしたい活動である。今後、徐々に連携と親睦を深め、個性あるルートづくり、沿道景観づくりのため共通意識が持てるように育てていきたい。 また、これまで行ってきた、景観診断、景観ウォッチングツアーなどを総合的にまとめ、ルートのあるべき景観を考えるために、景観づくり検討会を開始した。今後未調査区間の調査、地域住民の皆様への意見照会などを経て、行政連絡会議とも協力しながら着実な成果が収められる活動にしたい。	
kus-08-09	景観づくり検討会		
kus-10	第3回 阿寒摩周キング・オブ・クリーンウォーク		
kus-12	花いっぱい活動団体交流会		

2) 地域づくり

番号	活動名称	総括	備考
kus-01-04	シーニックカフェ	シーニックカフェでは、4つの活動がそれぞれの目標を持ち、地域住民の皆様、観光客の皆様にも徐々に認知されるようになった。今後予定されているカフェミーティングを成功させ、継続的な交流の場とし、連携による地産地消の推進や、お互いのエリアの産品を取り入れた新メニューの開発などを期待したい。 沿道清掃活動では、これまで実行委員は運営で精一杯、参加者は歩く事に精一杯という状況であった。今後は一般参加型の活動を、地域の皆様と触れ合う機会と捉え、シーニック活動のPR、参加者同士が交流できるメニューを用意するなど工夫していきたい。 懐かシーニックパネル展は、約半年の間に7会場で展示し、多くの地元の方々にご覧いただいた。引き続き各方面のご協力を得ながら所蔵の充実と、開催内容の工夫を行ってきたい。 ルートの広報ツールである、マガジンと、ホームページは、一年間、様々な工夫をしながら取組んで、基本形が出来つつあると認識する。今後、地域住民と観光客、ルートを繋ぐものとして、より多くの方々との関係を持ちながら進めていきたい。 フォーラムや、シンポジウム等は、これまでルート活動の紹介や、関係者に対する学習の場としての側面があったが、今後はより地域に開かれた内容としたい。	
kus-05-07	阿寒・摩周・中標津リレー清掃		
kus-10	第3回 阿寒摩周キング・オブ・クリーンウォーク		
kus-11	懐かシーニックパネル展		
kus-12	花いっぱい活動団体交流会		
kus-15	ルートホームページ運営		
kus-16	ルートマガジン発行		
kus-17	地域づくりフォーラム		
kus-18	ルート指定報告会		

3) 観光振興

番号	活動名称	総括	備考
kus-01-04	シーニックカフェ	シーニックカフェをシーニック情報拠点と位置づけている。本年度は、ルートマガジン、シーン、シーニックフォト倶楽部ほか関係資料を配布した。またエリア連携として、互いの観光パンフレットを置き合うなどの取り組みも行った。 今後は指定ルートとしてシーンに情報拠点が掲載されることから、シーニックバイウェイに対する問い合わせも増えることが予想される。 カフェ関係者のミーティングなどを活用し、観光客の皆様へ適切な情報をお伝えできる体制を整えたい。 ルートホームページは、第一の目標を観光振興のための地域情報の発信と位置づけている。しかし、個別記事に直接コメントを寄せてもらい、対話形式でコミュニケーションを図るなどブログ形式の特徴は活かしきれていない。今後更なる改良と内容の充実を図りたい。 観光交流部会では、ルート内に点在する観光案内施設の担当者同士の対話や情報の共有による、ホスピタリティの向上を目指し、観光交流検討会(愛称:スマイルネット)を設立した。構成は、活動団体と、活動団体以外の観光協会、観光案内所などに参加を呼びかけている。内容もさることながら、ルート観光交流部会が事務局となり、外部組織をコーディネートする初の試みになるので、ルート内部の情報共有をしっかりと行い、大切に育てていきたい。	
kus-10	第3回 阿寒摩周キング・オブ・クリーンウォーク		
kus-13	観光交流検討会(意見交換会)		
kus-14	観光交流検討会		
kus-15	ルートホームページ運営		
kus-16	ルートマガジン発行		

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

(1) 行政の事業に関する報告(釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ)

2) 中長期計画(活動方針)に沿った成果リスト

分野			活動名称	活動内容	活動実施日	主催	連携行政機関	連携内容	成果および課題
景観形成	地域づくり	観光振興							
	○		シーニックカフェ	シーニックカフェ開陽台牧場 中標津町開陽台牧場内で、商工会青年部が中心となり、シーニックカフェを実施	平成18年7月22日～30日	中標津町商工会青年部	中標津町	町所有施設の使用許可後援	開陽台を含め、ルート内に4箇所のシーニックカフェが存在する。現在は、中標津町以外は、活動への参加や広報協力を実施。 今後シーニックカフェの連携を元に、地産地消の促進、コミュニティビジネスの検討などが行われる可能性があるため行政連絡会議としての連携準備が必要
○	○		阿寒・摩周・中標津リレー清掃	阿寒湖（阿寒湖温泉 幸福の森商店街の清掃活動） 活動団体がエリアの枠を超え、相互に参加（お手伝い）することにより、道路景観の美化はもとより、個々の交流と親睦を図る	平成18年4月27日	阿寒湖温泉連合町内会（リレー清掃：ルート景観まちづくり部会参加企画）	釧路開発建設部	清掃活動への参加	地域住民と共に地域の為に汗を流すことで今後の連携が促進されることが期待される。
○	○		摩周（摩周クリーンウォーク2006）	活動団体がエリアの枠を超え、相互に参加（お手伝い）することにより、道路景観の美化はもとより、個々の交流と親睦を図る	平成18年5月27日	弟子屈町、ルート共催（リレー清掃：ルート景観まちづくり部会参加企画）	弟子屈町 釧路開発建設部	弟子屈町：主催 釧路開建：清掃活動への参加	早い時期からシーニック活動に協力的な弟子屈町とルートの取り組みと言う点で、今後のモデルケースの一つとして活用が考えられる。 行政連絡会議事務局としても、このような活動を積極的にPRしていきたい。
○	○		中標津（中標津清掃奉仕活動）	活動団体がエリアの枠を超え、相互に参加（お手伝い）することにより、道路景観の美化はもとより、個々の交流と親睦を図る	平成18年6月4日	中標津町（リレー清掃：ルート景観まちづくり部会参加企画）	中標津町 釧路開発建設部	中標津町：主催 釧路開建：参加	中標津町主催行事に、団体として参加している商工会青年部の協力者として参加。町より次年度からは参加団体の一つとしてルートが参加しないかとの打診有り、大きな成果を収められた。
○			景観づくり検討会	第1回景観づくり検討会 ・弟子屈エリアにおいて、これまでの活動で発掘した地域資源や、一層の活用が考えられる地域資源、及び地域資源周辺環境のフィールド調査を行う。 ・フィールド調査結果から景観づくりの方向性について検討する。	平成18年10月21日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ（景観まちづくり部会）	釧路開発建設部 釧路土木現業所	景観検討会への参加	ルート主催の景観づくり検討会にオブザーバーとして参加。道路管理者として地域活動団体と共に沿道景観を検討する機会が重要である。 検討会で、景観阻害要因として指摘された道道の標識を検討会後に釧路土木現業所が鉄橋（集約整理）
○				第2回景観づくり検討会 ・これまでに取り組んできた調査・検討結果を整理する ・「何のための景観づくり？」 ルートの景観づくりについて考える	平成18年1月31日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ（景観まちづくり部会）	釧路開発建設部 環境省 川湯自然保護官事務所	景観検討会への参加	検討対象地が阿寒国立公園を含むため、行政連絡会議を通じ環境省に参加を依頼し実現。 ルート内に2つの国立公園を含むという特製上、今後も道路管理者、環境省、森林管理署などをはじめとする行政連絡会議全体としての取組みが必要

分野			活動名称	活動内容	活動実施日	主催	連携行政機関	連携内容	成果および課題
景観形成	地域づくり	観光振興							
○	○	○	第3回 阿寒摩周キング・オブ・クリーンウォーク	テーマ 「すてたら阿寒 ひろい摩周」 趣 旨 言葉では言い表せない達成感と感動を皆様にも感じてもらいたい。阿寒国立公園の大自然、自然とのつながりの中で生きる我々が大切にしなければいけないものは何なのか、そんな何かを考えるきっかけにしてもらいたい。歩く。ごみを拾う。簡単なことだけど、この大会を通して、私たちは伝えたいものがあります。皆様との出会いを楽しみにしています。	平成18年9月2日	クリーンウォーク実行委員会	■後援 釧路開発建設部・釧路支庁・環境省釧路自然環境事務所・弟子屈町・弟子屈町教育委員会・釧路市ほか ■協賛 釧路開発建設部弟子屈道路事務所：（軍手・ゴミ回収）ほか	・釧路開建：活動への参加（42.195キロコース）、軍手提供、集まったゴミの回収 ・阿寒湖除雪センターを開放	物資の提供、道路管理施設の使用許可などの側面支援に加え、当日は一般参加者として登録。趣旨および規模、複数のエリアが協力し実施している体制などを勘案し、今後ルートを代表するイベントに成長する可能性があり、行政としても積極的な支援が必要と考える。
	○		懐かシーニックパネル展	昭和初期の川湯温泉、弟子屈地域を中心とした松葉末吉氏の作品および中標津、阿寒湖、釧路湿原各エリアの同時代の写真を展示 第1回 弟子屈エリア開催 第2回 中標津（伝成館イベントに貸与） 第3回 中標津（商工会青年部記念式典） 第4回 釧路湿原（地域づくりフォーラム） 第5回 中標津（中標津町役場ロビー） 第6回 野付半島ネイチャーセンター 第7回 釧路地方合同庁舎	ルート内各地で巡回	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	釧路市阿寒町行政センター、中標津町、別海町、釧路開発建設部釧路地方合同庁舎	資料提供：釧路開発建設部、釧路市阿寒町行政センター 開催協力：中標津町、別海町野付半島ネイチャーセンター、釧路地方合同庁舎（釧路開発建設部）	資料提供および会場の使用許可などで協力している。古い写真等、行政連絡会議構成機関が所蔵している場合が多いので、今後も資料提供、および開催支援の両面での協力が必要と考える。
○	○		花いっぱい活動団体交流会	シーニックバイウェイ支援センター事務局長かとうけいこ氏を迎え、講演会、意見交換会を実施 ・ シーニックバイウェイルートとして取り組む活動の方向性（コンセプト）の抽出 ・ 普段の会議、広域的な活動に参加できない花いっぱい系活動団体への参加意識の醸成 ・ 恒例行事化に向けた検証 ・ 共通コンセプト等を作成し、中長期計画への展開の足がかりを掴む。	平成19年3月7日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ（景観まちづくり部会）	行政担当者連絡会議（弟子屈町、釧路支庁、環境省川湯自然保護官事務所、釧路開発建設部）	活動への参加	本ルートの花いっぱい活動は小規模なものが多く、また主婦や高齢者が中心となって活動しているところも少なくない。よって、回数は少なくとも活動団体同士が交流する場を設け息の長い支援が必要と考える。花いっぱい活動に対しては、VSPの紹介その他、行政連絡会議構成機関の持つ支援ツールなどを積極的に紹介することが必要と考える。
		○	観光交流検討会（意見交換会）	釧路地域、根室地域の観光関係機関の皆様と共に、観光客の立場に立った観光交流事業を推進するための広域連携に即した協議、意見交換	平成18年12月6日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ（観光交流部会）	中標津町（町観光協会事務局兼任として） 釧路開発建設部	意見交換会への参加	観光協会など観光関連団体の担当者レベルでの初の意見交換会となり、検討会の設立および活動に対し積極的な意見が大勢を占め、地域に求められていることが明らかとなった。活動費、観光振興ツールの制作費など多くの課題が残る。
		○	観光交流検討会	（観光交流検討会設置の目的） 観光客へのホスピタリティ向上 広域連携に即した観光交流事業の推進	平成19年2月14日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ（観光交流部会）	中標津町、別海町（町観光協会事務局兼任として） 釧路開発建設部	検討会への参加 釧路開建のみオブザーバー参加	観光交流検討会では、ルートの広域観光パンフの製作などを目指している。行政連絡会議構成機関でも興味を示し、市町村の足並みが揃えば底分の負担はやぶさかでないとの意見もあり、今後、観光交流検討会の動向に注視し、要望があった際には積極的に調整する必要があると考えられる。

分野			活動名称	活動内容	活動実施日	主催	連携行政機関	連携内容	成果および課題
景観形成	地域づくり	観光振興							
	○	○	ルートホームページ運営	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ公式サイト 観光情報の集約と発信 「顔が見える」「匂が伝わる」地元発信Blog	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ（情報広報部会）	釧路市、標茶町、弟子屈町、釧路支庁、根室支庁、釧路土木現業所、釧路開発建設部	サイトへのリンク設定	行政連絡会議を通じ、ルートHPへのリンクの呼びかけを行った。結果、多くの機関の賛同が得られた。引き続き同様の呼びかけを行い。行政連絡会議としても情報発信機能を充実させ、ルートHPとの連携を促進していく。
	○	○	ルートマガジン発行	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ公式サイト 観光情報の集約と発信 「顔が見える」「匂が伝わる」地元発信Blog	通年	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ（情報広報部会）	中標津町、釧路開発建設部	中標津町：資料、写真提供 釧路開建：情報提供（記事掲載）	釧路開建として道路緊急ダイヤル、あんしんNAVIの情報提供、コラムへの原稿の提供を行った。またドライブ情報において、ルートの要請により中標津町が写真提供を行った。観光交流検討会の内容も含め、市町村においても広域観光の視点に立ったパンフなどの改訂が進み、これまでの所蔵写真等では対応できないという声も聞かれたため、今後観光促進ツールの相互共有などのシステム整備が、行政およびルート双方の活動に対し有益であると考ええる。
	○		地域づくりフォーラム	開催テーマ：地域の自然をまもりつつ活かすアイデア 地域住民、企業、行政のパートナーシップによる釧根の自然をまもり活かした地域づくりやインフラのあり方などに関して、専門家や有識者からのお話を伺い、地域の方々と共に考え、情報発信する場	平成18年11月24日	釧路開発建設部	共催：釧路支庁、根室支庁、釧路市、根室市、釧路支庁管内町村会、根室支庁管内町村会	地域づくりフォーラムの開催	パネルディスカッションのパネリストとして、ルート会長の桐木氏を設定。ルートマガジンの取り組みや、景観づくり検討会で問題となった箇所の紹介など地域景観形成およびシーニック活動の紹介という点においても成果が得られた。
	○		ルート指定報告会	地域づくりフォーラムの後にルート指定報告会を開催	平成18年11月24日	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	釧路開発建設部ほか	フォーラム終了後の連続開催への協力	釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイが指定ルートとなった事を受け、地域住民の皆さんへの報告の場を提供。

3. 地域及び行政の運営に関する報告

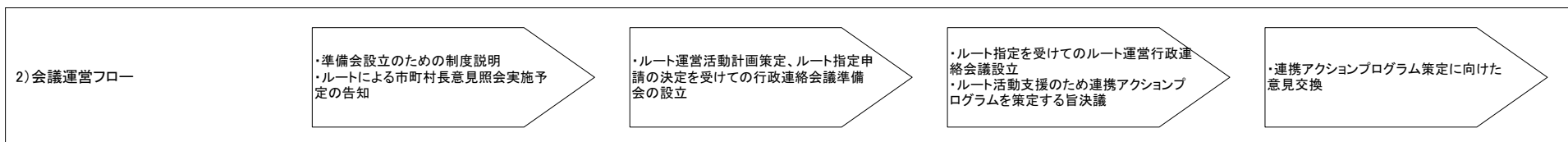
(1) 会議開催スケジュール (・ルート運営代表者会議他 ・行政連絡会議他)

■ 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウエイ H18年度スケジュール

		2006年度――平成18年度													
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
主な取り組み			計画に基づく実践(申請に向けた試行)												
		取りまとめ	WG組織化	実践準備	実践と計画内容精査			申請		指定					
行政	行政連絡会議 (準備会)					行政担当 会議7/7		行政準備会 8/21	意見 開会		AP関連ヒアリング		行政会議 ①12/22	担当者会議① 2/16	AP関連記入シート配布
会議	ルート計画・運営 等承認機関														
	ルート計画・全体 運営等、調整機 関														
	ルート計画・WG 運営等、検討機 関														
	分野別、エリア別 事項等検討機 関														
	ルート運営代表者 会議(総会)														
会議	幹事会														
	ルート運営委員会														
	エリア運営会議														
	部会														
	情報														

(2) 行政連絡会議他概要

1) 会議種別	第1回 行政担当者連絡会議	ルート運営行政連絡会議準備会	ルート運営行政連絡会議	ルート運営行政担当者連絡会議
行政連絡会議準備会	期日: 平成18年7月7日 時間: 13:30～15:00 場所: 釧路地方合同庁舎5階共用会議室 ■主な内容 ・シーニックバイウエイ制度説明 ・意見交換	期日: 平成18年8月21日(月) 時間: 17:00～18:00 場所: 釧路全日空ホテル 3階「万葉」 ■主な内容 ・ルート運営行政連絡会議の設置について ・準備会議長選出	日時: 平成18年12月22日(金) 時間: 13:00～15:00 場所: 釧路地方合同庁舎 5階 共用会議室 ■主な内容 ・ルート運営行政連絡会議の設立について ・ルート運営行政連絡会議規約について ・ルート運営行政連絡会議について ・連携アクションプログラムについて ・スケジュール	日時: 平成19年2月16日(金) 時間: 13:30～15:30 場所: 釧路市交流プラザさいわい ■主な内容 ・各機関アイデアの紹介 ・ルート運営代表者会議連携希望事項 ・連携アクションプログラムについて ・意見交換 ・道の歴史の紹介(本会議先行活動)
行政連絡会議	・ルート運営行政連絡会議 ・ルート運営行政担当者連絡会議			



(3) 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ ルート活動報告

		2006年度～平成18年度																	
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
主な取り組み		計画に基づく実践(申請に向けた試行)																	
		取りまとめ	WG組織化		実践準備		実践と計画内容精査								申請		指定		
WG活動部会	運営推進協		現況整理、分科会開催 経費まとめ	申請書類 (ルート運営活動計画)案策定	申請書類 (ルート運営活動計画)案見直し					10/27 審査委	11/13 推進協	指定ルート活動報告 11/24							
	組織			新規加入団体のルール案 策定(審査基準、分類など)	新規加入団体のルール案 見直し							組織体系の検討(事務局機能などに関する検討 法人化などに関する資料検討) 新規加入団体受付など							
	ルート間 交流他			次世代担い手づくりに関する取組み(出前講座など) 活動計画策定→19年度実施を目指した取組み(通年)				行政との連携 地域住民への啓蒙・次世代担い手づくりに関する取組み											
	景観まち		分科会運営計画案 活動計画案策定					9/10 いも											
	景観づくり 検討会				9/5 設立	事前調査、調査地点の選定、地域ヒアリング				10/21 第1回	第一回フィールド調査 結果のまとめ		1/31 第2回						
	カフェ		リスの森・8月よりバン・デ・レン 開陽台牧場 ホームスイートホーム(4/29～11/5)																
	リレー清掃 他	ジャンパー 安全誘導のぼり制作	4/27 阿寒	5/27 摩周	6/4 中標	キングオブグリーンワーク 実行委員会への活動運営協力		9/2											
	パネル展					企画調整アポイント		開催準備	①弟子屈会場	②伝成館 10/28～	③トーヨー	④釧路P 11/24	⑤中標津町役場	⑥野付半島エコミュー 12/下～1/下	釧路地方合同庁舎 3/1～15				
	花いっぱい		花いっぱい活動予定調査 開催・エリア担当者協力	(調査・ヒアリング)→webにアップ(随時 ルートHPエリア担当者ほか)						講師、日程調整		告知・内容調整	3/7 交流会						
	水マップ		湧水、清流マップ web立ち上げ 先行事例紹介	内容の充実															
	観光交流													2/10～11 中標津、弟子屈まつり					
	運営	分科会運営計画案 活動計画案策定	「お手伝いから始めよう」相互交流の実践											調査集計、検討会設立準備					
	検討会 部会		観光案内施設窓口調査(観光案内施設概況、情報提供の現況など)									調査集計、検討会設立準備							
	検討会 本会												12/6意見交換	持続的検討機関設立準備	2/14 設立会				
	新規観光 メニュー																		
	情報広報	sbw.web	HP企画調整	仮アップ 作動試験・入力研修	植物マップ、湧水マップ	花いっぱい活動紹介				更新・改良 地域投稿システム構築など					TOPページ改良・アンケート対応(システム構築準備)				
		マガジン	企画調整	4/19 校正			ルートマガジン 春夏版配布 秋冬版制作				校正	ルートマガジン 秋冬版配布				19年度春夏版作成			
		内部広報												ニュースレター検討					
	団体・エリア活動		各団体H18年度活動スケジュールの把握							個別団体活動の実施									

釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ	報告者：釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ ルート運営代表者会議 会長 桐木茂雄	平成19年3月31日
	報告者：釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ ルート運営行政連絡会議 議長 篠宮章浩	

4. 審査委員会意見に関する報告

意見の種別	意見の内容	ルート運営代表者会議の報告	ルート運営行政連絡会議の回答	備考
シーニックバイウェイルート審査委員会審査結果に対する見解	・推薦できるが、○でなく、△であることの意味を以下に記したい。 ・圧倒的な資源に支えられたルートであり、推薦できる。 ・しかし、言い過ぎかもしれないが、資源性への依存が他ルートに比較して大きいようにも感じられ、今後の挑戦に期待するという意味を込めて、○ではなく△と表記した。	・ルート内に2つの国立公園、圧倒的規模のパイロットファームを有する当ルートが、資源性に恵まれていることは理解している。 ・左記意見は、それらを繋ぐ具体的な物語性が示せていないことへの指摘と理解し、今後改善していきたい。	ルート運営代表者会議との連携、および活動に対する積極的支援を行う。(以下同)	
	活動がわかりやすく一体感がある。神秘を五感で感じる様子がルート全体にみながっている。活動団体に若さ活気が感じられ今後に期待できる			
指定に対するシーニックバイウェイ北海道推進協議会の意見	4エリアにおける資源性は申し分ないが、資源価値が高すぎる上での課題がある。			
	自然資源の保護・調和、市街地部とその周辺の近景・中景の景観の改善等に取り組んでいく必要がある。	・候補ルート時代から景観診断、景観ウォッチングツアーなどを実施し、それらの検討結果を体系的にまとめ活用するために、景観づくり検討会を発足させた。今後、未調査区間の調査の実施を行い、ルートとしての景観マスタープランを作成する予定である。 ・その過程、および結果の運用にあたり、左記意見に留意し改善に取り組んでいきたい。		
	アイヌ文化など、当該地域のもつ神秘性のある歴史・文化・自然を活用した演出など、新しい取り組みにも期待したい。	・懐かシーニックパネル展での地域の歴史を見つめ直す活動を開始した。今後この活動を通じ地域の歴史、文化を知ることから始めたいと思う。 ・アイヌ文化が色濃く残る地域であるが、現在明確な連携の方策はない。今後継続的な問題として取り組んでいきたい。		
	特にエリアが広大であることから、活動団体同士や行政、地域住民等と一層連携した取り組みが必要であるとともに、機動力のある十分な体制の運営が必要である。	・中心的役割を果たすメンバー以外において、距離の離れた地域の活動団体同士の交流は活発とはいえない。今後、ホームページやメールリストを活用し一層の連携をはかりたい。 ・地域住民に対しては、行政連絡会議と連携し、制度説明パネル展示や、広報物の配布などを通じ交流を深めたい。 ・これまでは、組織の充実、内部連携の促進の為に、一般に向けた勉強会やフォーラムなどの開催が少なかったが、今後は、外に向けた活動も行っていきたい。		

意見の種別	意見の内容	ルート運営代表者会議の報告	ルート運営行政連絡会議の回答	備考
推進協議会構成機関からの意見	・各地域美化運動がしっかり行われ景観に対する取組みがよい。			
	・特に広大な自然景観は、北海道らしさがあり、観光ブランドは申し分のないルートです。周遊性が高まるよう、更なる、活発な地域活動を期待します。	・ルート内に期限限定も含め4箇所あるシーニックカフェや、その他協力を得られる情報拠点と連携し、地域の魅力を相互に紹介するなど周遊性を高める取り組みを行いたい。 ・観光交流分野では、観光交流部会が、ルート内の観光案内施設の担当者同士の連携を促進するためにスマイルネットを設立した。今後さらに活動を充実させ、観光客に対するホスピタリティの向上に努めたい。		
	・当該ルートのある釧路・根室地域は、阿寒湖、摩周湖、屈斜路湖といった著名な湖を擁する阿寒国立公園、ラムサール条約登録湿地であり貴重な動植物を育む釧路湿原国立公園や自然公園といった道内有数の豊かな自然環境が恵まれた地域であり、シーニックバイウェイルート指定されることにより、地域の魅力の向上や地域の活性化が一層図られることが期待できる。			
	・釧路・根室地域においては今回ルート提案のあった市町村以外にも景観等に恵まれた地域があるので、今後ルートの拡大などにより、さらなる魅力の向上が図られることも期待したい。	・現状ではルートの拡大が更なる魅力の向上につながるとの見解には至っていない。お互いの顔の見える手作りのルート運営を目指しており、今後ルート内部の検討でルートの拡大がルート運営上有効であるとの結論に至った時点で具体的な対応を協議する。		
	・計画の作成に当たっては、国立公園等における行為規制や公園事業等の内容も念頭においてくださるようお願いします。	・行政連絡会議に釧路自然環境事務所が入っておりますので、充分協議をしながら活動を進めていきたい。 ・第2回景観づくり検討会へ釧路自然環境事務所川湯保護官事務所の保護官の参加をいただいた。		
	・また、表示されている観光資源等の他に「塘路湖エコミュージアムセンター」、「釧路湿原野生生物保護センター」及び「コッタロ展望台」があります。	・ルート内の周遊性を高める活動、地域資源の紹介などにおいて、非常に重要な施設であるとする。今後情報発信などにおいて連携を深めたい。		

意見の種別	意見の内容	ルート運営代表者会議の報告	ルート運営行政連絡会議の回答	備考
シーニックバイウェイ北海道推進協議会のシーニックバイウェイルート(全体)に対する意見	候補ルート期間内に深めた活動の連携と質の向上をこれからも継続させ、力強い地域の一体感の醸成を進められたい。	・努力します。		
	道外、国外の地域づくりの事例を踏まえると成功のポイントは、「自主性」「挑戦」「活動のネットワーク」「人材育成」「住民との連携」などが挙げられる。これらに留意しつつ、地域に合ったスピードで具体的な活動を展開していくとともに、今後の活動が地域全体の活動となっていくことが望ましい。	・地域を良くしたいという気持ちを基本に地道な活動を積み上げる。		
	特にルート内における景観、自然、歴史、文化、レクリエーション資源などの地域資源の保全・改善のための活動を総合的に実施し、質の高い旅行空間の形成を目指しルートを運営するにあたり、以下の点に留意しつつ進められたい。			
	・地域特性の活用:北海道特有の気候風土を生かし、常に新しいものの追加、物語性の充実、国際競争力の強化を進め、通年性、持続性を確保			
	・景観への取り組み:景観意識の向上、景観や地域資源を生かしたコミュニティビジネスの創出	・コミュニティビジネスの創出は中長期計画に盛り込んでいる。 ・短期計画においても、シーニックカフェの連携などを通じ、可能性を模索したい。		
	・自然に与えられた景観の活用に加え、まちなかの建物・看板等の規制や指導などの検討	・景観づくり検討会の成果を通じ、多くの賛同の得られる建設的な活動としていきたい。		
	・既存観光地からの脱却を目指し、歴史文化資源の活用、食文化、レクリエーション資源など幅広く地域の個性を生かした地域主導型の新たなツーリズムの展開や個人型旅行の促進・対応に向けた取り組みの実施	・本ルートの魅力である温泉や、農業、産業はじめとする体験観光をリンクさせ、特徴あるツーリズムを創造したい。 ・観光交流検討会(スマイルネット)を通じ、観光客の生の声、現場の抱える問題などを聞き、ルートとして新たな活動を実施していきたい。		
	・持続性の確保:参加する各主体(国、道、市町村、活動団体、住民)による持続的な責任ある行動とその活動や成果に対する外部評価やアドバイザーの採用	・行政連絡会議との連携を促進するとともに、ルートとして、明確な要望、見解が出せるように、様々な事象に対し、きちんとした検討を経て、意思決定を行う仕組みを確立したい。		
	・ホスピタリティ向上:研修プログラムの実施、地域での多様な人材育成	・人材育成に関しては、次世代担い手育成ということで平成19年度より検討を開始する。 ・研修プログラムの実施に関しては、現在対応する活動を行っていない。		
	・全国・世界への情報発信、旅行会社等民間企業との連携	・ルートホームページやルートマガジンの機能を強化し情報発信をおこなう。全世界へ向けた情報発信には、責任ある翻訳作業の実施などの観点から、活動資金の確保の検討を行う必要がある。 ・旅行会社など民間企業との連携は今後検討していく。		
	・開かれた運営体制:継続的な参加者の募集、地域住民やコミュニティとの連携・協働	・ルート組織の核を強化していくことで、開かれた運営体制が実現できると考える。 ・新規活動団体の登録は、規約に明記し、受け入れ態勢を整えた。		

5. その他の報告

(1) ルート運営活動計画の変更(軽微変更)

対象箇所	現状(誤)	変更(正)	備考
P12 資源分布図	誤: 硫黄山・ハイマツ／ エゾツツジ群落	正: 硫黄山・ハイマツ／ イソツツジ群落	※環境省よりの指摘
P3 阿寒湖ラムサール登録年	誤: 平成15年度 ラムサール条約締結湿地に登録されました。	正: 平成17年度 ラムサール条約締結湿地に登録されました。	※環境省よりの指摘